

北九州市民の会ニュース



9条が照らす平和への道



ロシアによるウクライナ侵略、イスラエルによるガザ侵攻がまだ続く中、第29回「2024平和のための戦争展in北九州」が8月31-9月1日、八幡西区の黒崎コムシティで開催されました。2日間で約450人が来場。記念講演は兵士・庶民の戦争資料館の武富慈海館長が「遺品が語る戦争の真実」を講演。八幡大空襲を経験した杉野慧子さんの語り部、平和のうた

ごえ、北九州アカデミー少年少女合唱団の合唱などがおこなわれました。戦時資料や写真など多くの貴重な資料が展示された市民ギャラリーにも多くの来場者が訪れました。9月8日には水巻町の十字架の塔などを回る戦争遺跡めぐりツアーも実施され、18人が参加しました。



講演する武富館長

なぜこの名前の資料館にしたか。父は九年間戦争に行って運良く生き残って帰ってきた。

戦争は最たる人権侵害

武富さんは2003年、兵士庶民の戦争資料館館長を二親から引き継ぎ、3代にわたり従軍した武富家に残る遺品や全国から寄せられた遺品を展示する全国でも珍しい施設の戦争資料館を継続しています。以下は講演要旨です。

まず命を奪われる確率が高い兵士、それから国内で生活している私たち庶民、この人たちが一番犠牲になるのは戦争の非常に矛盾したところ。この目線で見ないと、戦争を語ることに何の意味もないということです。

ましたので、その反省で戦争は勝っても負けても人権侵害の最たるもの、人の命を奪ったり奪われたりするというのが一番いけないことだということに気がつきまして二度と戦争しちやいかんということを反省した上で、戦争を知らない世代に戦争の本当のことを伝えたいということで始めたんです。



三輪実行委員長

私たちは歴史的な帰路に立たされています。無責任に政権を投げ出した岸田首相は大軍拡、大増税を国民に押し付け、ひたすら戦争の道を突き進んできました。私たち国民はあの侵略戦争の反省から二度と戦争はしないと誓い、そのために軍隊を持たないと決めて、この思いを憲法九条に込めて不断の努力によって、平和の道を歩んできました。戦争は人類の敗北です。今、憲法九条は輝いています。憲法九条こそアジアと世界の平和の未来を照らしています。私たちは憲法九条の平和憲法を守っていきながら堂々と平和道を進んでいき、平和憲法を未来につなげていくことはありませんか。

戦争の道か、平和の道か

語り部

八幡大空襲で被災
脳裏から消えない
悲惨な出来事
平和への思い強く



杉野さん

1941年12月の真珠湾攻撃で始まった太平洋戦争で北九州市、特に八幡では、大空襲があったわけです。地獄のような悲惨な出来事でした。その時の様子を忘れることができません。私は七歳で、二年生でした。昨日のこのように今も覚えています。あの時の情景を忘れることができません。私の脳裏から、消えることはないのです。その戦争が終わって79年になります。

私は今でも八幡を焼け野原にしたあのB29が憎い。戦争が憎い。火の海の中を逃げまどいながら死ぬか生きるか、生死をさまようのはもうたくさんです。私のような思いをすることがあってはなりません。今は平和。そして皆さんの尊い命を守るのは平和です。この平和が、いつまでも続きますように。

来場者の感想

平和のうたごえ

●長崎の被爆体験が語りと共に合唱曲(組曲)になってるのが素晴らしかった。20分があつという間でした。

●実際に起きた戦争のようすをとてもリアルに歌として表現されており、その光景が想像として伝わってきました。

記念講演

●自分で知ろうとしないと戦争のことは教えられないな

いんだとあらためて思いました。本当のことを知って、子どもたちに伝えたいと思いませんでした。80年しか経っていないのに。戦争の準備をさせないぞ!!と戦後でいられるように。

●「兵士・庶民の戦争資料館」のことを初めて知りました。館長の話はユーモアたっぷり、千人針や水筒の話は実物を示しながら持っていた方のことを思い浮かべることができました。小竹の資料館に行ってみようと思いました。

市民ギャラリーでの作品展示



語り部

●八幡大空襲の怖さを具体的にその日の一日を語ってくださり、本当に恐ろしいと思いました。ガザやウクライナの子どもたちは、今も杉野さんと同じ思いをしているかと思うと悲しくて仕方がありません。

●八幡大空襲のことは知りませんでした。力強い語りで、ひしひしと命の大切さが伝わってきました。戦争は絶対ダメです。

「北九州アカデミー少年少女合唱団」

●小さい子から高2迄、美しい歌声をありがとう
●すてきな歌声をありがとう
●ございました。ひとつひとつの言葉が沁みました。
●大勢の子どもたちありがとう。戦争のない平和な地球をみんなです非つくりましょう。

パネル展示について

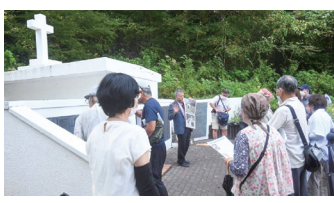
●リアルな展示多く、涙が出そうです。小倉に落ちていたら自分も生まれてなかったかもと思うと悲しいです。

●平和資料室の展示は説明が分かり易く、また、手で触れることができ良かった。高校生の絵は、写真とは違って、

訴える力がありますね。
●パレスチナとイスラエルについてよく分かりませんでした。今回の展示で理解できました。早く戦争を終わらせることが一番の課題ですね。
●悲惨な写真がたくさんありました。若い人たちが見て戦争の現状をもっと知るべきだと思います。

9月8日戦跡めぐり

●廣幡八幡宮・奉安殿／初めて行った。いつも通っている所に！身近にあるんだとびっくり。



●十字架の塔／オランダ人被害者への追悼の気持ちは尊い。中国人、朝鮮人など、アジア人への申し訳なさと同様！

●忠霊塔／若松は、空襲時の一般市民も慰霊されてすごいと思った。八幡の名簿も探したい。空襲被害者や原爆被害者も軍人と共に慰霊されている。なぜだろうかを考える。
●軍艦防波堤／こんな平和利用でよかったです。

●「北九州平和資料室TICO PLACE」／もう一度、時間をかけて、他の人を誘って行きたい。